

科目コード N-211	専門分野 生涯発達支援領域	単位数	必修 1単位
授業科目名	健康状態別看護1:慢性期看護学	時間数	30時間
担当教員	専任教員、企業団認定看護師	開講時期	2年前期
<b>授業概要</b>			
慢性期看護の対象となる人とその家族の特徴について理解を深める。慢性期看護の基本となる機能や役割理論について学ぶ。慢性期看護の一般的な展開として健康学習支援を中心とした看護の展開、および急性増悪の予防と精神的支援、代表的な疾患の慢性期にある看護、アセスメントから看護介入について学習する。			
<b>到達目標</b>			
1. 慢性期における身体的・心理社会的側面の特徴を説明する 2. 慢性期で用いられる理論に関する基礎概念を理解する 3. 慢性期にある人の看護アセスメントの視点を生活と関連させながら説明できる 4. 内分泌・代謝、アレルギー・膠原病、血液疾患患者の看護を理解する 5. がん看護、主な治療が説明できる			
<b>ディプロマポリシーとの関連性</b>			
<input checked="" type="checkbox"/> 1. 人間の生活を理解するための基礎知識、生活者の健康を支援するための専門的知識を習得している <input checked="" type="checkbox"/> 2. 生命の尊厳と権利を擁護する倫理観、価値観を尊重したコミュニケーション技法を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 3. あらゆる健康の状態にある人々の健康課題を解決するために、根拠に基づいた看護を計画的に実践できる基礎的能力を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 4. 地域社会の健康課題を把握し、他の医療・保健・福祉の専門職者と協働し、対象者及び家族への支援に関する基礎知識を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 5. 専門職業人としての責務を自覚し、継続的に学習する力と自己のキャリア形成をみすえ社会に貢献する意欲を持っている			
<b>授業計画</b>			
回	学習内容	授業方法	場所
第1回	慢性病との共存を支える看護	講義	教室2
第2回	成人の健康生活を促すための看護技術	講義	教室2
第3回	内分泌・代謝機能に障害のある患者の看護1	講義	教室2
第4回	内分泌・代謝機能に障害のある患者の看護2	講義	教室2
第5回	内分泌・代謝機能に障害のある患者の看護3 SMBG	校内実習	基礎看護学実習室
第6回	アレルギー・膠原病患者の看護1	講義	教室2
第7回	アレルギー・膠原病患者の看護2	講義	教室2
第8回	がん患者の看護1	講義	教室2
第9回	がんの治療2:薬物療法(化学療法)を受ける患者の看護	講義	教室2
第10回	がんの治療3:薬物療法(化学療法)を受ける患者の看護	講義	教室2
第11回	がんの治療4:放射線療法を受ける患者の看護	講義	教室2
第12回	血液疾患患者の看護1	講義	教室2
第13回	血液疾患患者の看護2	講義	教室2
第14回	校内実習 シナリオ26	校内実習	成人看護学実習室
第15回	単位認定試験		教室2
<b>準備学習等</b>			
臨床推論につながるよう、専門基礎分野の学習内容を復習して受講してください			
成績評価方法	配点 教員50点 内分泌・代謝機能に障害のある患者の看護30点 がん治療看護師20点 授業参加状況、学習課題、レポート、態度、試験を総合して評価する		
テキスト	医学書院)臨床看護総論、成人看護総論、がん看護、成人看護4. 6. 11		
参考書			
受講要件・備考			
科目コード N-212	専門分野 生涯発達支援領域	単位数	必修 1単位

授業科目名	健康状態別看護2:緩和ケア	時間数	30時間
担当教員	専任教員、企業団認定看護師	開講時期	2年後期
<b>授業概要</b>			
緩和ケアの歴史と発展、緩和ケアのチームアプローチについて学習する。全人的苦痛を緩和する緩和ケアの考え方、具体的な症状緩和、スピリチュアルな苦痛のケアについて学ぶ。退院支援の意義、目的、実際と在宅での看取りと看護の役割、臨死期の看護について学習する。			
<b>到達目標</b>			
1. 緩和ケアにおけるチームアプローチが説明できる 2. 緩和ケアにおける倫理的課題を考える 3. 全人的ケアについて説明できる 4. 緩和ケアの広がりを理解し、課題について考えることができる 5. 終末期の看護、臨死期のケアが説明できる			
<b>ディプロマポリシーとの関連性</b>			
<input checked="" type="checkbox"/> 1. 人間の生活を理解するための基礎知識、生活者の健康を支援するための専門的知識を習得している <input checked="" type="checkbox"/> 2. 生命の尊厳と権利を擁護する倫理観、価値観を尊重したコミュニケーション技法を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 3. あらゆる健康の状態にある人々の健康課題を解決するために、根拠に基づいた看護を計画的に実践できる基礎的能力を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 4. 地域社会の健康課題を把握し、他の医療・保健・福祉の専門職者と協働し、対象者及び家族への支援に関する基礎知識を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 5. 専門職業人としての責務を自覚し、継続的に学習する力と自己のキャリア形成をみずえ社会に貢献する意欲を持っている			
<b>授業計画</b>			
回	学習内容	授業方法	場所
第1回	緩和ケアの現状と展望・チームアプローチ	講義・演習	教室2
第2回	緩和ケアにおけるコミュニケーション・倫理的課題	講義・演習	教室2
第3回	全人的ケアの実践	講義・演習	教室2
第4回	全人的ケアの実践	講義・演習	教室2
第5回	緩和ケアの広がり:ライフサイクルにおける広がり:小児 AYA世代	講義・演習	教室2
第6回	緩和ケアの広がり:ライフサイクルにおける広がり:高齢者	講義・演習	教室2
第7回	緩和ケアの広がり:さまざまな疾患における広がり:悪性腫瘍	講義・演習	教室2
第8回	緩和ケアの広がり:さまざまな疾患における広がり:心疾患	講義・演習	教室2
第9回	臨死期のケア	講義・演習	教室2
第10回	家族のケア	講義・演習	教室2
第11回	終末期看護1	演習	教室2
第12回	終末期看護2	演習	教室2
第13回	校内実習シナリオ001	校内実習	成人看護学実習室
第14回	校内実習シナリオ002	校内実習	成人看護学実習室
第15回	まとめと単位認定試験	試験	教室2
<b>準備学習等</b>			
臨床推論につながるよう、専門基礎分野の学習内容を復習して受講してください			
成績評価方法	配点 教員70点 看護師30点 授業参加状況、学習課題、レポート、態度、試験を総合して評価する		
テキスト 参考書	医学書院) 緩和ケア		
受講要件 ・備考			
科目コード N-213	専門分野 生涯発達支援領域	単位数	必修 1単位

授業科目名	健康状態別看護3:周術期看護学		時間数	30時間
担当教員	専任教員・企業団認定看護師		開講時期	2年後期
<b>授業概要</b>				
周術期の経過を知り、予測性をもって看護援助が行えるよう、手術による身体侵襲、回復を促進する看護実践を学ぶ。手術部位による術前後の管理の特徴や、事例に対するアセスメント、援助計画の立案、計画に基づく実践とその振り返りを通して、臨地実習で看護実践を行うための基盤を学習する。				
<b>到達目標</b>				
1. 手術による生体反応からの回復を支える看護援助について説明できる。 2. 手術前日・当日・手術中・手術後の患者の看護援助について説明できる。 3. 手術部位による手術療法の看護の特徴が説明できる。 4. 事例に対するアセスメント、援助計画の立案・実践・評価ができる。				
<b>ディプロマポリシーとの関連性</b>				
<input checked="" type="checkbox"/> 1. 人間の生活を理解するための基礎知識、生活者の健康を支援するための専門的知識を習得している <input checked="" type="checkbox"/> 2. 生命の尊厳と権利を擁護する倫理観、価値観を尊重したコミュニケーション技法を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 3. あらゆる健康の状態にある人々の健康課題を解決するために、根拠に基づいた看護を計画的に実践できる基礎的能力を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 4. 地域社会の健康課題を把握し、他の医療・保健・福祉の専門職者と協働し、対象者及び家族への支援に関する基礎知識を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 5. 専門職業人としての責務を自覚し、継続的に学習する力と自己のキャリア形成をみすえ社会に貢献する意欲を持っている				
<b>授業計画</b>				
回	学習内容	授業方法	場所	
第1回	急性期看護	講義	教室2	
第2回	外科医療の基礎、周術期看護の概論	講義	教室2	
第3回	手術前患者の看護	講義	教室2	
第4回	手術中患者の看護	講義	教室2	
第5回	手術中患者の看護	講義	教室2	
第6回	手術後患者の看護(ドレーン管理、輸液管理、輸血含む)	講義	教室2	
第7回	集中治療を受ける患者の看護	講義	教室2	
第8回	手術を受ける高齢者の看護・手術を受ける小児の看護	講義	教室2	
第9回	外科各論:肺・胸部疾患患者の看護	講義	教室2	
第10回	外科各論:心臓・脈管系患者の看護	講義	教室2	
第11回	外科各論:消化器および腹部系患者の看護	講義	教室2	
第12回	外科各論:脳・神経疾患患者の看護	講義	教室2	
第13回	校内実習シナリオ19~23	校内実習	成人看護実習室	
第14回	校内実習シナリオ19~23	校内実習	成人看護実習室	
第15回	単位認定試験	試験	教室2	
<b>準備学習等</b>				
臨床推論につながるよう、専門基礎分野の学習内容を復習して受講してください				
成績評価方法	配点 看護師 50点 教員50点 授業参加状況、学習課題、レポート、態度、試験を総合して評価する			
テキスト参考書	医学書院)臨床外科看護総論、臨床外科各論			
受講要件	・備考			
科目コード N-214	専門分野	生涯発達支援領域	単位数	必修 1単位

授業科目名	精神看護学概論		時間数	15時間	
担当教員	専任教員		開講時期	1年後期	
<b>授業概要</b>					
精神保健医療の歴史と課題を包括的に捉え、精神面の健康について健康の保持・増進及び疾病の予防、疾病の回復に向けた看護の対象と看護の役割について学習する。					
<b>到達目標</b>					
1. 人間の3側面の関連性、精神の健康の意義、看護の目的を説明できる。 2. 人間の成長発達・人間関係・適応・危機状態と心の健康について説明できる。 3. 精神面の健康障害が、人間の生活にどのような影響をもたらすか意欲的に考えることができる。 4. 精神保健の動向を分析し、精神看護の活動の場と看護職の役割を関連させながら説明できる。 5. 精神保健医療福祉の歴史と課題を学習し、精神の倫理的配慮ができる。					
<b>ディプロマポリシーとの関連性</b>					
<input checked="" type="checkbox"/> 1. 人間の生活を理解するための基礎知識、生活者の健康を支援するための専門的知識を習得している <input checked="" type="checkbox"/> 2. 生命の尊厳と権利を擁護する倫理観、価値観を尊重したコミュニケーション技法を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 3. あらゆる健康の状態にある人々の健康課題を解決するために、根拠に基づいた看護を計画的に実践できる基礎的能力を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 4. 地域社会の健康課題を把握し、他の医療・保健・福祉の専門職者と協働し、対象者及び家族への支援に関する基礎知識を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 5. 専門職業人としての責務を自覚し、継続的に学習する力と自己のキャリア形成をみずえ社会に貢献する意欲を持っている					
<b>授業計画</b>					
回			授業方法	場所	
第1回	精神看護学で学ぶこと	精神保健の考え方	精神①第1・2章	講義	教室1
第2回	精神保健の考え方		精神①第2章	講義	教室1
第3・4回	人間の心のはたらきとパーソナリティ: 人間の心の諸活動 心のしくみと人格の発達		精神①第3章	講義	教室1
第5回	関係のなかの人間:全体としての家族		精神①第4章	講義・演習	教室1
第6回	関係のなかの人間:人間と集団		精神①第4章	講義・演習	教室1
第7回	精神保健医療福祉の歴史と現在の姿		精神①第7章	講義・演習	教室1
第8回	単位認定試験				教室1
<b>準備学習等</b>					
心の健康はすべての人にかかわります。興味をもって自分や周りの人の心の健康の保持・増進ができるように主体的に学びましょう。					
成績評価方法	授業参加状況、学習課題、レポート、態度、試験を総合して評価する				
テキスト 参考書	医学書院)系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学[1] 精神看護の基礎 医学書院)系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学[2] 精神看護の展開 医学書院)系統看護学講座 別巻 精神保健福祉 メディックメディア) 公衆衛生がみえる				
受講要件 ・備考					
科目コード N-215	専門分野	生涯発達支援領域	単位数	必修 1単位	

授業科目名	精神看護実践論1:社会の精神保健と心の健康	時間数	15時間
担当教員	専任教員	開講時期	2年前期
<b>授業概要</b>			
ライフサイクルや現代社会の精神の健康課題を理解し、現代社会で起こりやすい心の危機状況を知り、精神の健康維持増進できることを目的として学習する。			
<b>到達目標</b>			
1. 現代社会における心の健康、主要な健康課題および援助方法を説明できる。 2. 医療現場における心の健康と援助方法を具体的に述べるができる。 3. 精神を病む人の特徴と看護の基本について説明することができる。			
<b>ディプロマポリシーとの関連性</b>			
<input checked="" type="checkbox"/> 1. 人間の生活を理解するための基礎知識、生活者の健康を支援するための専門的知識を習得している <input checked="" type="checkbox"/> 2. 生命の尊厳と権利を擁護する倫理観、価値観を尊重したコミュニケーション技法を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 3. あらゆる健康の状態にある人々の健康課題を解決するために、根拠に基づいた看護を計画的に実践できる基礎的能力を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 4. 地域社会の健康課題を把握し、他の医療・保健・福祉の専門職者と協働し、対象者及び家族への支援に関する基礎知識を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 5. 専門職業人としての責務を自覚し、継続的に学習する力と自己のキャリア形成をみずえ社会に貢献する意欲を持っている			
<b>授業計画</b>			
回	学習内容	授業方法	場所
第1回	人々の暮らしと精神保健、学校・職場におけるメンタルヘルス 精保第4, 8章 (2)第10章	講義	教室2
第2回	精神保健福祉の法律と施策 と看護 精保福第1, 2, 3章	講義・演習	教室2
第3回	精神保健活動の展開に必要な知識と技術 精保福第4章	講義・演習	教室2
第4・5回	こころの健康の保持増進 コミュニケーション能力を高めるケア(アサーション、コーチング) 自己コントロールを高めるケア (リラクゼーション、認知療法、エンパワメント)	講義・演習	教室2
第6回	医療の場におけるメンタルヘルスと看護、リエゾン精神看護 精神②第14, 16章	講義・演習	教室2
第7回	単位認定試験	試験	教室2
<b>準備学習等</b>			
毎時間しっかりと考えることが必要です。積極的に学習し、メンタルヘルスを維持・向上できるように理解を深めていきましょう。			
成績評価方法	授業参加状況、学習課題、レポート、態度、試験を総合して評価する		
観点			
テキスト	医学書院)系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学[1] 精神看護の基礎 医学書院)系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学[2] 精神看護の展開		
参考書	医学書院)系統看護学講座 別巻 精神保健福祉 メディックメディア) 公衆衛生がみえる		
受講要件 ・備考			

科目コード N-216	専門分野 生涯発達支援領域	単位数	必修 1単位
授業科目名	精神看護実践論2:精神障害のある人の看護	時間数	30時間
担当教員	万葉クリニック認定看護師, 南和広域医療企業団認定看護師	開講時期	2年後期
<b>授業概要</b>			
主な精神症状とその治療および精神看護の基礎知識・技術・看護を学ぶ。			
<b>到達目標</b>			
1. 対象の主な精神症状と病理的状态とその援助方法の基礎的な知識について説明できる。 2. 精神疾患、障害をもつ対象の精神看護の看護技術を実施できる。 3. 精神に障害をもつ対象・家族を支える医療・保健・福祉のシステムを学び、対象の状態に対する看護の役割を説明できる。			
<b>ディプロマポリシーとの関連性</b>			
<input checked="" type="checkbox"/> 1. 人間の生活を理解するための基礎知識、生活者の健康を支援するための専門的知識を習得している <input checked="" type="checkbox"/> 2. 生命の尊厳と権利を擁護する倫理観、価値観を尊重したコミュニケーション技法を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 3. あらゆる健康の状態にある人々の健康課題を解決するために、根拠に基づいた看護を計画的に実践できる基礎的能力を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 4. 地域社会の健康課題を把握し、他の医療・保健・福祉の専門職者と協働し、対象者及び家族への支援に関する基礎知識を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 5. 専門職業人としての責務を自覚し、継続的に学習する力と自己のキャリア形成をみすえ社会に貢献する意欲を持っている			
<b>授業計画</b>			
回	学習内容	授業方法	場所
第1回	ケアの人間関係 精神科ケアの前提、プロセスレコード	講義・演習	教室2
第2回	ケアの人間関係	講義・演習	教室2
第3回	回復を助ける、リハビリを促す	講義・演習	教室2
第4回	地域における支援の原則と多職種連携	講義・演習	教室2
第5回	入院治療の意味	講義・演習	教室2
第6回	身体をケアする フィジカルアセスメントと経過期別の看護	講義・演習	教室2
第7回	身体をケアする 日常生活における看護、症状の看護	講義・演習	教室2
第8回	身体をケアする 合併症、治療法による看護	講義・演習	教室2
第9回	安全を守る看護	講義・演習	教室2
第10回	精神科で出会う人々のケアをする、安全を守る 精神領域の疾患のある人の看護	講義・演習	教室2
第11回	精神科で出会う人々のケアをする、安全を守る 精神領域の疾患のある人の看護	講義・演習	教室2
第12回	精神科で出会う人々のケアをする、安全を守る 精神領域の疾患のある人看護	講義・演習	教室2
第13・14回	一般病棟で出会う精神障害のある人のケアをする、安全を守る 器質性精神障害[認知症]のある人の看護	講義・演習	教室2
第15回	単位認定試験とまとめ	試験	教室2
<b>準備学習等</b>			
疾病論の既習学習内容を復習して授業に臨んでください。			
成績評価方法	授業参加状況、学習課題、レポート、態度、試験を総合して評価する		
テキスト	医学書院)系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学[1] 精神看護の基礎		
参考書	医学書院)系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学[2] 精神看護の展開 医学書院)系統看護学講座 別巻 精神保健福祉 メディックメディア) 公衆衛生がみえる		
受講要件・備考			
科目コード	専門分野 生涯発達支援領域	単位数	必修 1単位

N-217	守り力 生涯発達支援領域	単位数	必修 1単位
授業科目名	精神看護実践論3:地域支援と看護課程	時間数	30時間
担当教員	専任教員	開講時期	2年後期
<b>授業概要</b>			
精神看護の対象となる人の症状を学ぶ。対象のセルフケア能力の再構築および社会復帰に向けた看護実践のための基礎知識・技術を学習する。			
<b>到達目標</b>			
1. 精神看護の看護過程の特徴と方法について理解できる。 2. 対象事例の症状アセスメントおよび治療の影響について説明できる。 3. 対象事例の看護過程の展開を実施できる。 4. 対象事例の関わり方・援助の基本的看護技術を実施できる。 5. プロセスレコードの意義・方法を学び、自己の振り返りの方法が理解できる。			
<b>ディプロマポリシーとの関連性</b>			
<input checked="" type="checkbox"/> 1. 人間の生活を理解するための基礎知識、生活者の健康を支援するための専門的知識を習得している <input checked="" type="checkbox"/> 2. 生命の尊厳と権利を擁護する倫理観、価値観を尊重したコミュニケーション技法を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 3. あらゆる健康の状態にある人々の健康課題を解決するために、根拠に基づいた看護を計画的に実践できる基礎的能力を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 4. 地域社会の健康課題を把握し、他の医療・保健・福祉の専門職者と協働し、対象者及び家族への支援に関する基礎知識を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 5. 専門職業人としての責務を自覚し、継続的に学習する力と自己のキャリア形成をみずえ社会に貢献する意欲を持っている			
回	学習内容	授業方法	場所
第1回	地域移行支援、地域生活支援の基礎	精保第5章	教室2
第2回	地域移行支援の展開	精保第6章	教室2
第3回	地域生活支援の展開	精保第7章	教室2
第4回	地域生活支援の展開	精保第7章	教室2
第5回	精神看護と理論(オレムアンダーウッド、バイオ・サイコ・ソーシャルモデル)	演習	教室2
第6回	精神障害者の症状アセスメントと薬物療法の看護	演習	教室2
第7回	精神障害者の看護過程の展開1 アセスメント過程	演習	教室2
第8回	アセスメント過程	演習	教室2
第9回	看護計画	演習	教室2
第10回	評価	演習	教室2
第11回	精神障害者の看護過程の展開 2 アセスメント過程	演習	教室2
第12回	アセスメント過程、看護計画	演習	教室2
第13回	精神障害者の援助の実際と看護技術	演習	教室2
第14回	精神障害者の援助の実際と看護技術	演習	教室2
第15回	単位認定試験、まとめ	試験	教室2
<b>準備学習等</b>			
精神看護学実践論の既習内容や看護過程の展開の復習をして授業に臨んでください。 精神・地域に関する制度や法律について確認・復習しておきましょう。			
成績評価方法	授業参加状況、学習課題、レポート、態度、試験を総合して評価する		
テキスト	医学書院)系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学[1] 精神看護の基礎 医学書院)系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学[2] 精神看護の展開		
参考書	医学書院)系統看護学講座 別巻 精神保健福祉 メディックメディア) 公衆衛生がみえる		
受講要件・備考			
科目コード N-218	専門分野 生涯発達支援領域	単位数	必修 1単位
授業科目名	成人看護学概論	時間数	30時間

担当教員	専任教員	開講時期	1年前期
<b>授業概要</b>			
成人の定義と、成人期にある人の特徴を学ぶ。その上で、成人の生活習慣と関連づけて健康問題を理解し、健康管理のための予防政策、健康状態に応じた成人看護の役割を学習する。			
<b>到達目標</b>			
1. 青年期、壮年期、向老期にある人の、身体的特徴、心理、社会的特徴、発達課題について理解する。 2. 成人を取り巻く社会環境と生活について理解し、成人の健康の動向と保健・医療・福祉政策について理解できる。 3. 健康障害を持つ成人を理解し、健康状態に応じた看護援助について意欲的に考えることができる。			
<b>ディプロマポリシーとの関連性</b>			
<input checked="" type="checkbox"/> 1. 人間の生活を理解するための基礎知識、生活者の健康を支援するための専門的知識を習得している <input checked="" type="checkbox"/> 2. 生命の尊厳と権利を擁護する倫理観、価値観を尊重したコミュニケーション技法を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 3. あらゆる健康の状態にある人々の健康課題を解決するために、根拠に基づいた看護を計画的に実践できる基礎的能力を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 4. 地域社会の健康課題を把握し、他の医療・保健・福祉の専門職者と協働し、対象者及び家族への支援に関する基礎知識を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 5. 専門職業人としての責務を自覚し、継続的に学習する力と自己のキャリア形成をみすえ社会に貢献する意欲を持っている			
<b>授業計画</b>			
回	学習内容	授業方法	場所
第1回	成人の生活と健康1	講義	教室 I
第2回	成人の生活と健康2	講義	教室1
第3回	成人への看護アプローチの基本	講義	教室1
第4回	ヘルスプロモーションと看護	講義	教室1
第5回	健康を脅かす要因と看護	講義	教室1
第6回	健康生活の急激な破綻から回復を促す看護と看護	講義・演習	教室1
第7回	慢性病との共存を支える看護・	講義・演習	教室1
第8回	障害がある人の生活とリハビリテーション	講義・演習	教室1
第9回	人生の最後のときを支える看護	講義・演習	教室1
第10回	学習者である患者への看護技術	講義・演習	教室1
第11回	治療過程にある患者への看護技術	講義・演習	教室1
第12回	療養の場を移行する人々への看護技術	講義・演習	教室1
第13回	療養の場を移行する人々への看護技術	講義・演習	教室1
第14回	新たな治療法、先端医療と看護	講義・演習	教室1
第15回	まとめと単位認定試験	試験	教室1
<b>準備学習等</b>			
成人の健康状態や健康問題に対応するアプローチの基本的な考え方について学びます。概観が理解できるように毎時間復習して定着できるように学習することが必要です。			
<b>成績評価方法</b>	授業参加状況、学習課題、レポート、態度、試験を総合して評価する		
<b>テキスト</b>	医学書院)成人看護学総論		
<b>参考書</b>			
<b>受講要件・備考</b>			
<b>科目コード</b> N-221	専門分野	生涯発達支援領域	単位数 必修 1単位



授業科目名	老年看護学概論	時間数	15時間
担当教員	専任教員	開講時期	1年後期
<b>授業概要</b>			
<p>老化に伴う身体的・精神的・社会的側面から老年期の対象とそれを支える家族を理解し、その人らしい生活を支援する看護の役割を学ぶ。対象を取り巻く環境、とりわけ高齢者を支える制度と施策、対象者が多様な地域で暮らすために必要な老年看護の役割を理解する。</p>			
<b>到達目標</b>			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ライフステージとしての老年期の定義や対象について説明できる。</li> <li>2. 老年看護の理念、目標・原則・機能と役割について説明できる。</li> <li>3. 家族形態の社会変化について説明できる。</li> <li>4. 高齢者医療の動向・保健活動・ソーシャルサポートシステムに関する基礎知識を身につける。</li> <li>5. 高齢者の人権と倫理について意欲的に考える姿勢を身につける</li> </ol>			
<b>ディプロマポリシーとの関連性</b>			
<p> <input checked="" type="checkbox"/>1. 人間の生活を理解するための基礎知識、生活者の健康を支援するための専門的知識を習得している  <input checked="" type="checkbox"/>2. 生命の尊厳と権利を擁護する倫理観、価値観を尊重したコミュニケーション技法を身につけている  <input checked="" type="checkbox"/>3. あらゆる健康の状態にある人々の健康課題を解決するために、根拠に基づいた看護を計画的に実践できる基礎的能力を身につけている  <input checked="" type="checkbox"/>4. 地域社会の健康課題を把握し、他の医療・保健・福祉の専門職者と協働し、対象者及び家族への支援に関する基礎知識を身につけている  <input checked="" type="checkbox"/>5. 専門職業人としての責務を自覚し、継続的に学習する力と自己のキャリア形成をみすえ社会に貢献する意欲を持っている </p>			
<b>授業計画</b>			
<b>回</b>	<b>学習内容</b>	<b>授業方法</b>	<b>場所</b>
第1回	老いるということ、超高齢社会と社会保障	講義	教室 I
第2回	社会保障	講義	教室 1
第3回	老年看護のなりたち、高齢者のヘルスアセスメント	講義	教室 1
第4回	高齢者のヘルスアセスメント	講義	教室 1
第5回	高齢者の生活機能を整える看護	講義	教室 1
第6回	高齢者の生活機能を整える看護	講義	教室 1
第7回	高齢者の生活機能を整える看護	講義	教室 1
第8回	まとめと単位認定試験	講義	教室 1
<b>準備学習等</b>			
<p>超高齢者社会である現在、入院患者はほぼ高齢者である。発達課題や老化理論を理解し、社会状況や倫理的問題について考えながら、定着できるように復習していこう。加齢変化とアセスメント、高齢者に特有な援助技術を定着できるように学習していきましょう。</p>			
成績評価方法	授業参加状況、学習課題、レポート、態度、試験を総合して評価する		
テキスト 参考書	医学書院) 老年看護学		
受講要件 ・備考			

科目コード N-219	専門分野 生涯発達支援領域	単位数	必修 1単位
授業科目名	成人看護実践論1:機能障害の看護と臨床判断	時間数	30時間
担当教員	専任教員・企業団認定看護師・看護師	開講時期	2年前期
<b>授業概要</b>			
<p>消化器系、内分泌・代謝系、腎泌尿器系に障害のある患者の看護を学習する。          系統別の医療の動向と看護を概観し、身体面・精神面・社会的特徴と看護の目的・機能、経過別、症状別、治療処置別の看護を学習する。</p>			
<b>到達目標</b>			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 循環器、消化器系、内分泌・代謝器系疾患を持つ患者の特徴、看護に必要な情報とアセスメントの視点について説明できる。</li> <li>2. おもな症状に対する看護を具体的に説明ができる。</li> <li>3. 検査・治療を受ける患者の看護について説明できる。</li> </ol>			
<b>ディプロマポリシーとの関連性</b>			
<p>☑1. 人間の生活を理解するための基礎知識、生活者の健康を支援するための専門的知識を習得している          ☑2. 生命の尊厳と権利を擁護する倫理観、価値観を尊重したコミュニケーション技法を身につけている          ☑3. あらゆる健康の状態にある人々の健康課題を解決するために、根拠に基づいた看護を計画的に実践できる基礎的能力を身につけている          ☑4. 地域社会の健康課題を把握し、他の医療・保健・福祉の専門職者と協働し、対象者及び家族への支援に関する基礎知識を身につけている          ☑5. 専門職業人としての責務を自覚し、継続的に学習する力と自己のキャリア形成をみすえ社会に貢献する意欲を持っている</p>			
<b>授業計画</b>			
回	学習内容	授業方法	場所
第1回	循環器1:循環器の看護を学ぶにあたって、症状に対する看護	講義・演習	教室2
第2回	循環器2:検査・治療・処置を受ける患者の看護	講義・演習	教室2
第3回	循環器3:疾患をもつ患者の看護 虚血性心疾患者の看護	講義・演習	教室2
第4回	循環器4:疾患をもつ患者の看護:血圧異常・不整脈・弁膜症等	講義・演習	教室2
第5回	消化器1:消化器の看護を学ぶにあたって、症状に対する看護	講義・演習	教室2
第6回	消化器2:検査・治療・処置を受ける患者の看護	講義・演習	教室2
第7回	消化器3:疾患をもつ患者の看護 胃・十二指腸疾患	講義・演習	教室2
第8回	消化器4:腸・腹膜、肝疾患・膵臓疾患患者の看護	講義・演習	教室2
第9回	感染症1:感染症とは	講義・演習	教室2
第10回	感染症2:検査・診断・治療	講義・演習	教室2
第11回	感染症3:疾患の理解	講義・演習	教室2
第12回	感染症4:患者の看護	講義・演習	教室2
第13回	校内実習:シナリオ002, 003	校内実習	教室2
第14回	校内実習:シナリオ002, 003	校内実習	教室2
第15回	まとめと単位認定試験		教室2
<b>準備学習等</b>			
<p>事前に関連する人体の構造と機能、薬理学、疾病論の授業内容を学習して授業に取り組んでください。          各科目終了後は、各巻にある「事例による看護過程の展開」を自己学習して看護の視点を身につけてください。</p>			
成績評価方法	<p>配点 循環器疾患患者の看護30点 消化器疾患患者の看護30点          感染症患者の看護30点、校内実習10点          授業参加状況、学習課題、レポート、態度、試験を総合して評価する</p>		
テキスト 参考書	<p>医学書院)成人看護3・5・11</p>		
受講要件 ・備考			

科目コード N-220	専門分野 生涯発達支援領域	単位数	必修 1単位
授業科目名	成人看護実践論2: 看護過程と臨床判断	時間数	30時間
担当教員	専任教員	開講時期	2年前期
<b>授業概要</b>			
対象の紙上事例を基に、看護過程の一連の流れを理解し展開する。また、この科目の学びを臨地実習で活用できるようにすることを旨とし、健康状態と生活機能の視点からアセスメントし、対象及び家族の健康課題を明らかにし、解決するための方法について学習する。			
<b>到達目標</b>			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 対象事例に必要な情報がわかり、意図的な情報収集とその方法について説明できる。</li> <li>2. 得られた情報とその人にとっての意味を考え、個別的な看護計画を立案できる。</li> <li>3. アセスメント同士のつながりを考えて描写し、対象を全体的に捉えることができる。</li> <li>4. 健康問題を解決するための、具体的で根拠のある看護介入を計画立案できる。</li> <li>5. 看護介入によってもたらされる状態を、期待される結果として具体的に表現できる。</li> <li>6. 臨地実習での受け持ち患者への看護実践に必要な知識・技能を修得し、主体的に取り組むことができる。</li> </ol>			
<b>ディプロマポリシーとの関連性</b>			
<input checked="" type="checkbox"/> 1. 人間の生活を理解するための基礎知識、生活者の健康を支援するための専門的知識を習得している <input checked="" type="checkbox"/> 2. 生命の尊厳と権利を擁護する倫理観、価値観を尊重したコミュニケーション技法を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 3. あらゆる健康の状態にある人々の健康課題を解決するために、根拠に基づいた看護を計画的に実践できる基礎的能力を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 4. 地域社会の健康課題を把握し、他の医療・保健・福祉の専門職者と協働し、対象者及び家族への支援に関する基礎知識を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 5. 専門職業人としての責務を自覚し、継続的に学習する力と自己のキャリア形成をみすえ社会に貢献する意欲を持っている			
<b>授業計画</b>			
<b>回</b>	<b>学習内容</b>	<b>授業方法</b>	<b>場所</b>
第1回	慢性期患者のセルフケア	講義・演習	教室2
第2回	アセスメント	講義・演習	教室2
第3回	アセスメント	講義・演習	教室2
第4回	関連図	講義・演習	教室2
第5回	健康課題抽出・問題リスト立案	講義・演習	教室2
第6回	看護計画立案	講義・演習	教室2
第7回	開腹術:低位前方切除術ストマ造設術を受ける患者の看護過程	講義・演習	教室2
第8回	アセスメント	講義・演習	教室2
第9回	アセスメント	講義・演習	教室2
第10回	手術後の健康課題の抽出・問題リスト	講義・演習	教室2
第11回	看護計画立案	講義・演習	教室2
第12回	回復期のアセスメント	講義・演習	教室2
第13回	看護計画立案:ストマセルフケア	講義・演習	教室2
第14回	看護計画立案:ストマセルフケア	校内実習	教室2
第15回	まとめと単位認定試験	試験	教室2
<b>準備学習等</b>			
既習学習内容を復習、授業に関連する動画教材を授業前後で視聴して授業に臨んでください。臨地実習に向けての準備状態を整える内容です。より看護実践が出来るよう主体的に事前・事後学習に取り組みましょう			
<b>成績評価方法</b>	授業参加状況、学習課題、レポート、態度、試験を総合して評価する		
<b>テキスト参考書</b>	医学書院)成人看護学総論、成人看護5・6		
<b>受講要件・備考</b>			

科目コード N-222	専門分野 生涯発達支援領域	単位数	必修 1単位
授業科目名	老年看護実践論1:老年看護の特徴と機能障害の看護	時間数	30時間
担当教員	専任教員・企業団看護師	開講時期	2年前期
<b>授業概要</b>			
高齢者看護の特性と呼吸器系、腎泌尿器系に障害のある患者の看護を学習する。 系統別の医療の動向と看護を概観し、身体面・精神面・社会的特徴と看護の目的・機能、経過別、症状別、治療処置別の看護を学習する。			
<b>到達目標</b>			
1. 疾病を持つ高齢者の理解と看護実践の特性について意欲的に学ぶことができる。 2. 呼吸器疾患・腎泌尿器疾患を持つ患者の特徴、看護に必要な情報とアセスメントの視点が説明できる。 3. おもな症状に対する看護の特徴について説明できる。 4. 検査・治療を受ける患者の看護が説明できる。			
<b>ディプロマポリシーとの関連性</b>			
<input checked="" type="checkbox"/> 1. 人間の生活を理解するための基礎知識、生活者の健康を支援するための専門的知識を習得している <input checked="" type="checkbox"/> 2. 生命の尊厳と権利を擁護する倫理観、価値観を尊重したコミュニケーション技法を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 3. あらゆる健康の状態にある人々の健康課題を解決するために、根拠に基づいた看護を計画的に実践できる基礎的能力を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 4. 地域社会の健康課題を把握し、他の医療・保健・福祉の専門職者と協働し、対象者及び家族への支援に関する基礎知識を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 5. 専門職業人としての責務を自覚し、継続的に学習する力と自己のキャリア形成をみすえ社会に貢献する意欲を持っている			
<b>授業計画</b>			
回	学習内容	授業方法	場所
第1回	老年看護1. 健康逸脱からの回復を促す看護	講義・演習	教室2
第2回	老年看護2. 健康逸脱からの回復を促す看護	講義・演習	教室2
第3回	老年看護3. 治療を必要とする高齢者の看護:検査・薬物	講義・演習	教室2
第4回	老年看護4. 治療を必要とする高齢者の看護:手術・リハビリテーション	講義・演習	教室2
第5回	老年看護5. エンドオブライフケア	講義・演習	教室2
第6回	老年看護6. 生活療養の場における看護 高齢者のリスクマネジメント	講義・演習	教室2
第7回	呼吸器1:呼吸器の看護を学ぶにあたって、 症状に対する看護	講義	教室2
第8回	呼吸器2:検査・治療・処置を受ける患者の看護	講義	教室2
第9回	呼吸器3:疾患をもつ患者の看護 肺炎・結核患者の看護	講義	教室2
第10回	呼吸器4:気管支喘息・気胸・肺がん患者の看護	講義	教室2
第11回	腎・泌尿器1:腎・泌尿器の看護を学ぶにあたって、疾患 をもつ患者の経過と看護	講義	教室2
第12回	腎・泌尿器2:症状・検査を受ける患者の看護	講義	教室2
第13回	腎・泌尿器3:内科的治療を受ける患者の看護	講義	教室2
第14回	腎・泌尿器4:外科的治療を受ける患者の看護	講義	教室2
第15回	まとめと単位認定試験		教室2
<b>準備学習等</b>			
事前に関連する人体構造と機能、薬理学、疾病論の授業内容を学習して授業に取り組んでください。 各科目終了後は、各巻にある「事例による看護過程の展開」を自己学習して看護の視点を身につけてください。			
成績評価方法	配点 老年看護学40点 呼吸器系疾患患者の看護・腎泌尿器系疾患患者の看護30点、 授業参加状況、学習課題、レポート、態度、試験を総合して評価する		
テキスト 参考書	医学書院)老年看護学、成人看護学2・8		
受講要件 ・備考			

科目コード N-223	専門分野 生涯発達支援領域	単位数	必修 1単位
授業科目名	老年看護実践論2:機能障害の看護と臨床判断	時間数	30時間
担当教員	専任教員・企業団看護師	開講時期	2年前期
<b>授業概要</b>			
脳・神経系、運動器系血液・感覚器系に障害のある患者の看護を学習する。 系統別の医療の動向と看護を概観し、身体面・精神面・社会的特徴と看護の目的・機能、経過別、症状別、治療処置別の看護を学習する。			
<b>到達目標</b>			
1. 脳・神経、運動器系疾患等を持つ患者の経過期ごとの特徴を理解し、看護に必要な情報とアセスメントの視点について説明することができる。 2. おもな症状に対する看護を説明することができる。 3. 検査・治療を受ける患者の看護が説明できる。			
<b>ディプロマポリシーとの関連性</b>			
<input checked="" type="checkbox"/> 1. 人間の生活を理解するための基礎知識、生活者の健康を支援するための専門的知識を習得している <input checked="" type="checkbox"/> 2. 生命の尊厳と権利を擁護する倫理観、価値観を尊重したコミュニケーション技法を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 3. あらゆる健康の状態にある人々の健康課題を解決するために、根拠に基づいた看護を計画的に実践できる基礎的能力を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 4. 地域社会の健康課題を把握し、他の医療・保健・福祉の専門職者と協働し、対象者及び家族への支援に関する基礎知識を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 5. 専門職業人としての責務を自覚し、継続的に学習する力と自己のキャリア形成をみずえ社会に貢献する意欲を持っている			
<b>授業計画</b>			
回	学習内容	授業方法	場所
第1回	リハビリテーション期の看護	講義	教室2
第2回	脳神経1:脳・神経の看護を学ぶにあたって、疾患をもつ患者の経過と看護	講義	教室2
第3回	脳神経2:症状・障害をもつ患者の看護	講義	教室2
第4回	脳神経3:治療・処置を受ける患者の看護	講義	教室2
第5回	脳神経4:疾患をもつ患者の看護	講義	教室2
第6回	運動器1:運動器の看護を学ぶにあたって、疾患をもつ患者の経過と看護	講義	教室2
第7回	運動器2:援助のための知識と技術、症状に対する看護	講義	教室2
第8回	運動器3:保存療法を受ける患者の看護、手術療法を受ける患者の看護	講義	教室2
第9回	運動器4:疾患をもつ患者の看護	講義	教室2
第10回	感覚器1:眼疾患患者の看護	講義	教室2
第11回	感覚器2:耳鼻咽喉科疾患患者の看護	講義	教室2
第12回	感覚器3:皮膚疾患患者の看護	講義	教室2
第13回	校内実習:シナリオ28	校内実習	教室2
第14回	校内実習:シナリオ28	校内実習	教室2
第15回	まとめと単位認定試験		教室2
<b>準備学習等</b>			
事前に関連する解剖生理学、薬理学、疾病と治療の授業内容を学習して授業に取り組んでください。 各科目終了後は、各巻にある「事例による看護過程の展開」を自己学習して看護の視点を身につけてください。			
成績評価方法	脳神経疾患患者の看護30点 運動器疾患患者の看護30点 感覚器系疾患患者の看護30点 校内実習10点 授業参加状況、学習課題、レポート、態度、試験を総合して評価する		
テキスト 参考書	医学書院)成人看護7. 10. 12. 13. 14		
受講要件 ・備考			

科目コード N-224	専門分野 生涯発達支援領域	単位数	必修 1単位
授業科目名	老年看護実践論3:看護過程と臨床判断	時間数	30時間
担当教員	専任教員	開講時期	2年後期
<b>授業概要 看護過程と臨床判断</b>			
加齢による心身の変化と疾患の罹患により、生活を障害された高齢者に対する看護過程の展開を学習する。その人の人生を念頭におき、健康の回復を促進し、その人が望む生活ができるよう支援する看護について考える。			
<b>到達目標</b>			
1. 対象の現在、過去の健康・生活事象、事象間の因果関係、緊急性、今後の見通しをアセスメントする。 2. それぞれの健康課題に対して、現実的な目標の設定ができる。 3. 目標を達成するための看護計画の立案ができる。			
<b>ディプロマポリシーとの関連性</b>			
<input checked="" type="checkbox"/> 1. 人間の生活を理解するための基礎知識、生活者の健康を支援するための専門的知識を習得している <input checked="" type="checkbox"/> 2. 生命の尊厳と権利を擁護する倫理観、価値観を尊重したコミュニケーション技法を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 3. あらゆる健康の状態にある人々の健康課題を解決するために、根拠に基づいた看護を計画的に実践できる基礎的能力を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 4. 地域社会の健康課題を把握し、他の医療・保健・福祉の専門職者と協働し、対象者及び家族への支援に関する基礎知識を身につけている <input checked="" type="checkbox"/> 5. 専門職業人としての責務を自覚し、継続的に学習する力と自己のキャリア形成をみずえ社会に貢献する意欲を持っている			
<b>授業計画</b>			
<b>回</b>	<b>学習内容</b>	<b>授業方法</b>	<b>場所</b>
第1回	呼吸器疾患患者の看護過程	講義・演習	教室2
第2回	アセスメント	講義・演習	教室2
第3回	アセスメント	講義・演習	教室2
第4回	健康課題の抽出・問題リスト	講義・演習	教室2
第5回	看護計画立案	講義・演習	教室2
第6回	老年:心不全急性憎悪事例	講義・演習	教室2
第7回	アセスメント	講義・演習	教室2
第8回	関連図	講義・演習	教室2
第9回	健康課題抽出・問題リスト立案	講義・演習	教室2
第10回	看護計画立案	講義・演習	教室2
第11回	実践と評価、リフレクション	講義・演習	教室2
第12回	看護要約	講義・演習	教室2
第13回	校内実習シナリオ031	校内実習	成人看護学実習
第14回	校内実習シナリオ031	校内実習	成人看護学実習
第15回	まとめと単位認定試験		教室2
<b>準備学習等</b>			
既習学習内容を復習、授業に関連する動画教材を授業前後で視聴して授業に臨んでください。臨地実習に向けての準備状態を整える内容です。より看護実践が出来るよう主体的に事前・事後学習に取り組みましょう			
<b>成績評価方法</b>	授業参加状況、学習課題、レポート、態度、試験を総合して評価する		
<b>テキスト参考書</b>	医学書院)成人看護2・3		
<b>受講要件</b>			
<b>備考</b>			